

令和 2 年 度

佐野市水道事業会計補正予算書
(第 3 号)

〔付 予算に関する説明書〕

令和2年度佐野市水道事業会計補正予算（第3号）

（総則）

第1条 令和2年度佐野市水道事業会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第2条 令和2年度佐野市水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
収 入			
第1款 水道事業収益	2,363,275千円	2,924千円	2,366,199千円
第2項 営業外収益	257,123千円	2,924千円	260,047千円
（科 目）			
支 出			
第1款 水道事業費用	2,202,932千円	16千円	2,202,948千円
第2項 営業外費用	156,741千円	16千円	156,757千円

（資本的収入及び支出）

第3条 予算第4条中「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,203,711千円は、過年度分損益勘定留保資金 108,808千円、当年度分損益勘定留保資金 766,524千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 95,613千円及び建設改良積立金 232,766千円で補填するものとする。）」を、「（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,206,459千円は、過年度分損益勘定留保資金 108,808千円、当年度分損益勘定留保資金 766,524千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 95,863千円及び建設改良積立金 235,264千円で補填するものとする。）」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
収 入			
第1款 資本的収入	644,309千円	△ 2,748千円	641,561千円
第4項 補助金	81,738千円	△ 2,748千円	78,990千円

（他会計からの補助金）

第5条 予算第9条中「81,007千円」を「81,183千円」に改める。

令和3年2月19日提出

佐野市長 岡 部 正 英

予算に関する説明書

令和2年度 佐野市水道事業会計補正予算（第3号）実施計画

(収益的收入及び支出)

収 入

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 水道事業			2,363,275	2,924	2,366,199	
収 益	2 営業外		257,123	2,924	260,047	
	収 益	3 他会計補助金	20,269	176	20,445	
		6 国庫補助金	0	2,748	2,748	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 水道事業			2,202,932	16	2,202,948	
費 用	2 営業外		156,741	16	156,757	
	費 用	2 消費税及び地方消費税	13,039	△ 250	12,789	
		3 雑支出	4,155	266	4,421	

(資本的收入及び支出)

収 入

(単位 千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資本的			644,309	△ 2,748	641,561	
収 入	4 補助金		81,738	△ 2,748	78,990	
		3 国庫補助金	8,500	△ 2,748	5,752	

令和2年度 佐野市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当期純利益	64,712
減価償却費	981,208
固定資産除却費	37,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 1,185
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 754
長期前受金戻入	△ 251,686
利息の受取額	△ 278
支払利息及び企業債取扱諸費	139,547
未収金の増減額(△は増加)	18,452
未払金の増減額(△は減少)	△ 10,849
たな卸資産の増減額(△は増加)	2
預り金の増減額(△は減少)	△ 121,916
小計	854,253
利息の受取額	278
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 139,547
業務活動によるキャッシュ・フロー	714,984

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 1,172,408
有形固定資産の売却による収入	1
補助金及び負担金による収入	76,600
補助金の返還	△ 905
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,096,712

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	538,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 574,341
他会計からの出資による収入	18,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,041

資金増加額(又は減少額)	△ 398,769
資金期首残高	2,592,933
資金期末残高	2,194,164

令和2年度 佐野市水道事業予定貸借対照表
(令和3年3月31日)
資 産 の 部

(単位 円)

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ 土地		682,185,753
ロ 建物	1,228,456,099	
減価償却累計額	<u>△ 633,260,193</u>	595,195,906
ハ 構築物	31,294,740,399	
減価償却累計額	<u>△ 16,315,351,054</u>	14,979,389,345
ニ 機械及び装置	7,481,714,891	
減価償却累計額	<u>△ 4,225,568,204</u>	3,256,146,687
ホ 車両運搬具	31,824,735	
減価償却累計額	<u>△ 29,066,900</u>	2,757,835
ヘ 工具器具及び備品	34,341,722	
減価償却累計額	<u>△ 31,807,034</u>	2,534,688
ト 建設仮勘定		<u>1,216,204,741</u>
有形固定資産合計		20,734,414,955

(2) 無形固定資産

イ 電話加入権		884,600
ロ ダム使用権		<u>996,265,873</u>
無形固定資産合計		<u>997,150,473</u>

固定資産合計

21,731,565,428

2 流 動 資 産

(1) 現金預金	2,194,164,460
(2) 未収金	90,655,000
貸倒引当金	<u>△ 20,382,299</u>
(3) 貯蔵品	8,917,790
(4) その他流動資産	<u>2,500,000</u>

流動資産合計

2,275,854,951

資産合計

24,007,420,379

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

8,206,008,351	
8,206,008,351	

(2) 引当金

イ 修繕引当金

25,000,000	
25,000,000	

引当金合計

固定負債合計

8,231,008,351

4 流 動 負 債

(1) 企業債

イ 建設改良費等の財源に
充てるための企業債

595,483,451	
595,483,451	

(2) 未払金

44,000,000

(3) 引当金

イ 賞与引当金

15,116,000	
15,116,000	

引当金合計

(4) その他流動負債

2,500,000

流動負債合計

657,099,451

5 繰 延 収 益

長期前受金

10,100,044,567

長期前受金収益化累計額

△ 5,499,943,543

繰延収益合計

4,600,101,024

負債合計

13,488,208,826

資 本 の 部

6 資 本 金

6,875,625,073

7 剰 余 金

(1) 資本剰余金

イ 受贈財産評価額

77,758,477

ロ 寄附金

4,588,090

ハ 工事負担金

426,555,749

ニ 補助金

696,534,424

資本剰余金合計

1,205,436,740

(2) 利益剰余金

イ 減債積立金

98,200,000

ロ 利益積立金

340,000,000

ハ 建設改良積立金

1,699,974,134

ニ 当年度末処分利益剰余金

64,712,000

ホ その他未処分利益剰余金変動額

235,263,606

利益剰余金合計

2,438,149,740

剰余金合計

3,643,586,480

資本合計

10,519,211,553

負債資本合計

24,007,420,379

令和2年度佐野市水道事業会計補正予算（第3号）における注記事項

I. 重要な会計方針

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

・減価償却の方法 定額法(間接法)による。

・主な耐用年数

建物 20～50年

構築物 10～60年

機械及び装置 10～38年

車両運搬具 4～5年

工具器具及び備品 5～10年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法 定額法(直接法)による。

・主な耐用年数

ダム使用权 55年

2 引当金の計上方法

(1) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当及びそれらに係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(2) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上している。

(3) 修繕引当金

会計基準改正前に計上してあった修繕引当金を移行して計上している。

3 キャッシュ・フロー計算書の作成方法

キャッシュ・フロー計算書については、間接法によって作成している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜処理によっている。

II. 予定貸借対照表関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債(当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。)のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は、979,532千円である。

2 引当金の取崩し

(1) 貸倒引当金の取崩し

令和2年度末において、水道料金の不納欠損処分による損失に充てるため、貸倒引当金3,321千円を取崩す予定である。

(2) 賞与引当金の取崩し

令和2年6月において、期末手当、勤勉手当及び法定福利費として22,470千円を支給したため、賞与引当金15,870千円を取崩した。

III. リース契約により使用する固定資産

1 リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行うこととされたが、本会計において該当する取引は所有権移転外ファイナンス・リース取引のみであるため、次号の特例措置を適用する。

2 リース会計に係る特例措置

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、地方公営企業法施行規則第55条に規定する特例措置を適用し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3 賃貸借処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る
未経過リース料相当額

1年以内 11,891,808 円

1年超 16,100,616 円

合計 27,992,424 円

IV. その他の注記

新会計基準移行に係る経過措置等

1 退職給付引当金を計上しない理由

本市は退職給付金の支払について栃木県市町村総合事務組合（以下「組合」という。）に加入しており、水道事業会計所属職員についても組合に掛金を拠出している。この際、一般会計との取り決めにより、水道事業会計より組合へ負担金を拠出して以降の追加的負担は全額一般会計において措置することとなっているため、水道事業会計においては退職給付引当金を計上せず、負担金の拠出時のみ費用処理を行っている。

2 修繕引当金に係る経過措置

平成26年3月31日以前に引当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

補 填 財 源 明 細 書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

(資本的収支)

(単位 円)

区 分		令 和 2 年 度			備 考
		財 源	補 填	残 額	
損益勘定 留保資金	過年度分	108,808,394	108,808,394	0	当年度分損益勘定留保資金 減価償却費 981,208 千円 長期前受金戻入 △ 251,686 資産減耗費 37,001 材料売却原価 1 固定資産売却損 1 固定資産売却益 △ 1
	当年度分	766,524,000	766,524,000	0	計 766,524 千円
減債積立金		98,200,000	0	98,200,000	
利益積立金		340,000,000	0	340,000,000	
建設改良積立金		1,935,237,740	235,263,606	1,699,974,134	
当年度分消費税 及び地方消費税 資本的収支調整額		95,863,000	95,863,000	0	当年度分消費税等資本的収支調整額 4条仮払消費税等 103,523 千円 4条仮受消費税等 △ 152 4条特定収入影響額 △ 7,508
計		3,344,633,134	1,206,459,000	2,138,174,134	計 95,863 千円